

「AINX株式会社」より（2023年3月24日）

#### 1. 糖質低減の効果の記載について

米種、炊飯条件等により糖質低減率の差が発生いたします。また同じ米種でも収穫年によって、糖質低減率に差が出ます。

弊社は以前からも国内の専門検査機関に依頼し検査した結果に基づき、糖質の低減率を表示してきました。販売において消費者に誤解を与えないように国内検査機関の数値を最大値として表示してまいりました。今回、米種を追加し、別の検査機関で検査をした結果でも糖質低減効果を確認しております。

この点ご認識いただければ幸いです。

#### 2. 家庭用品表示法の表示

消費者が下線の引かれた部分だけを読み、小さく表記されている注釈を見逃した場合、弊社が家庭用品品質表示法に違反しているという印象を消費者が抱いてしまうおそれがあります。

これについては御社のホームページに再度、対応済であることを告知いただければ幸いです。

#### 3. 事業者への要望について

景品表示法に沿うべく低減率の表記など改善指示をいただき、弊社ホームページ内でも最大カット率の数値などを一旦削除していますが、それについて問題が残るかどうかの国が主導でガイドラインを策定いただきたくお願いいたします。どこまでの修正をすることが表示として合格ラインとなるのか判断がつきかねます。

#### 4. 上記全体、検査方法を含めたガイドライン策定

事業者としては今後国が低糖質炊飯器を販売するメーカーに対して検査・試験方法・表示方法などのガイドラインを設けていただくことが望ましいと考えます。新しいカテゴリの炊飯器としてガイドラインの明示をいただけることは弊社のような事業者としてありがたいことです。ご教示をお願いいたします。

#### 【商品テスト部の見解】

今回のテストでは、取扱説明書に従って炊飯しても、必ずしも表示された糖質の最大の低減率になるわけではないことが分かり、そのように炊飯できる条件や、各炊飯条件での低減率を明示するよう要望しました。

また、家庭用品品質表示法に係る表示につきましては、当センターがテストのために購入した商品と同様な表示の商品を購入された消費者もいらっしゃると思われたため、これらの記載は残す必要があると考えました。併せて、貴社から、既に関係行政機関へ報告、確認がなされ、2022年2月生産分から表示を改善されたとの連絡を受けましたので、参考情報として、その旨を記載しました。

表示、広告につきましては、一義的には各社で責任を持って行うものと考えており、検査・試験方法、表示方法などのガイドライン策定につきましては、所管の行政機関にご相談ください。